



令和2・3年度 国立教育政策研究所
教育課程研究指定校事業（へき地教育）研究指定校
廿日市市立吉和小・中学校（吉和学園）

考えをもち、はっきり表現する児童生徒の育成

～SDGsの視点をふまえた教育課程の編成と説明力を高める指導方法の工夫～



吉和地域の現状と課題

今、吉和地域の人口は611人。半数は、高齢者。

その高齢者の1/3、100人強が一人暮らし。

10年で、約100人ずつ減るという試算あり。

10年、20年後、吉和小・中学校、未来の吉和地域は大丈夫か？

国連 SDGs宣言！  SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

吉和小・中学校の現状と課題

〈児童生徒数〉 R2 小 32人, 中 13人, 計 45人 R3 小 36人, 中 15人 計 51人

〈R1確かな学力〉 自分の考えをはっきりと表現できた児童生徒の割合は81%

〈施設一体型の小中一貫校〉 日々の関わりが多いが、大人数の前で発表する機会が少ない。

〈R1豊かな心の育成〉 自己有用感 95%, 自己達成感 96%

〈吉和地域との連携〉 社会とのつながりを意識した学習を継続している。

説明力やコミュニケーション力がもっと必要！

発表の概要

1. 研究仮説

2. 研究内容 ①教育課程の編成

3. 研究内容 ②説明力の育成

4. 研究内容 ③地域連携

5. 成果と課題 これからに向けて





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



1. 研究仮説

学校教育目標

夢や目標をもち、果敢に挑戦し、自己実現する児童生徒の育成

目指す児童生徒像 考えをもち、はっきりと表現することができる児童生徒

児童生徒に身につけさせたい資質・能力

① 主体的に学ぶ力

② 説明力

③ 人間関係形成力

研究主題

考えをもち、はっきりと表現することができる児童生徒の育成
～SDGsの視点をふまえた教育課程の編成と説明力を高める指導方法の工夫～

〈研究仮説〉

へき地・小規模校という本校の特徴を生かし、

①総合的な学習の時間を中心に据えたSDGsの視点による教育課程の見直し

②全教科・全領域での説明力を高める指導方法の工夫

③「SDGs」を共通キーワードとした学校と地域の方々が相互に学び合える取組〈地域連携〉

をすれば〈成果として〉考えをもち、はっきりと表現することができる児童生徒が育成できるであろう。

説明力の向上が目指す児童生徒育成のための必要条件

〈目指す児童生徒像〉

考えをもち、はっきりと表現することができる児童生徒。

研究仮説

説明力を鍛える授業づくり

「めあてと振り返り」が連動する授業づくり

指導と評価の一体化

主体的に学びに向かう態度

人間関係形成力・主体的に学ぶ力



2. 研究内容

① 教育課程の編成

総合的な学習の時間を中心に据えたSDGsの視点による教育課程の見直し

総合的な学習の時間を中心に据えた SDGsの視点による教育課程の見直しの意義

SDGsの視点で教育課程を見直すことは、単元学習やカリキュラム・マネジメントなどの教科や教科の枠を越えた**主体的・対話的で深い学び**を行うのに有効である。

1. 「吉和地域の持続可能なまちづくり」とその担い手である本校児童生徒の課題解決に向けて継続的・発展的に取り組むことができる。
2. 「SDGs」の視点により総合的な学習の時間を構成することで、教科の系統性や教科間の関連性が明確になり、教科ごとの教育課程の編成の見直しができる。
3. 小3から中3までの総合的な学習の時間を異年齢の学習集団に分け、学習活動を2年間行うことで、小1・2の生活科を含めた9か年の見通した教育課程の編成の見直しができる。
4. 総合的な学習の時間に異学年合同学習を仕組むことにより、異年齢での学び合いが生まれ、教科の枠を越えて、小中一貫校のよさを活かした全教職員による指導ができる。
5. 総合的な学習の時間の発表やまとめが、各教科で育成した「説明力」などの検証の場となる。

R 2

〔総合的な学習の時間〕の学習内容と関連する教科 メインテーマ「SDGs」で吉和の未来を考える ～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～

15 陸の豊かさも
守ろう



小3～小6
「陸の豊かさを守ろう」
理科, 社会, 国語, 保健

8 働きがいも
経済成長も



中1～中2
「働きがいも経済成長も」
社会, 国語,

11 住み続けられる
まちづくりを



中2「住み続けられるまち
づくりを」
社会, 国語, 英語, 保健

11 住み続けられる
まちづくりを



中3「世界, 日本の現状」
「吉和小中学校でできること」
社会, 英語, 国語, 理科, 保健

11 住み続けられる
まちづくりを



小3～中3 やまびこ太鼓
「住み続けられる
まちづくりを」
社会, 音楽, 保健

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



小3～中1 福祉プロジェクト
「すべての人々に健康と福祉を」
社会, 理科, 国語, 保健

R 3

〔総合的な学習の時間〕の学習内容と関連する教科
メインテーマ「SDGs」で吉和の未来を考える
～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～

3 すべての人に
健康と福祉を



小3～中1 **社会, 保健, 国語**
「お年寄りが住みやすい
まちづくり」

11 住み続けられる
まちづくりを



小3～中1 **社会, 保健, 国語**
「若い人が住みたくなる
まちづくり」

中2・3 **社会, 英語, 国語, 保健**
「住み続けられるまちづくりを」
「吉和小中学校でできること」

11 住み続けられる
まちづくりを



小3～中3 やまびこ太鼓
「住み続けられる
まちづくりを」
社会, 音楽, 保健

8 働きがいの
経済成長も



中2 「働きがいの経済成長も」
社会, 数学, 英語, 国語

中3 「自分の生き方を考える」
社会, 数学, 英語, 国語

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



小3～中3 福祉プロジェクト
「すべての人々に健康と福祉を」
社会, 理科, 国語, 保健



R2・3 小学校1・2年生 生活科「まちたんけん」



11 住み続けられる
まちづくりを

2021/04/28

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

2021/05/26

吉和のよいところ・宝探し

R2 小学生「川の生き物調査」

協力：廿日市市環境政策課

関連教科：理科・社会・保健体育・図工



吉和の動植物





11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

R3 小3・4・5・やまびこ5・6・中1
総合的な学習の時間「吉和の未来を考える」
「お年寄りが住みやすいまちづくり」
「若い人たちが住みたくなるまちづくり」

【関連教科】
理科・社会
国語・保健

R2総合的な学習の時間の見直し 関連教科：社会・理科・保健体育



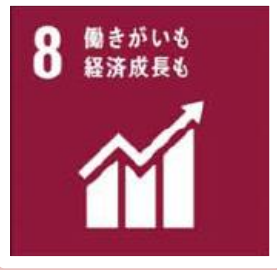
中2 修学旅行で
吉和PRのための
地域学習



修学旅行

京都で
吉和をPR!

キャリア教育の一環として



中1・2 SDGs認知度調査
協力：吉和支所



中3
「国連ユニタール」との交流



「私のSDGs宣言」
の取組

児童生徒会への働きかけ

通常の子童生徒活動以外に、総合的な学習の時間の取組を生かして、学校全体の取組として児童生徒会活動、委員会活動を行っている。

- ・ 生徒会執行部 … 「私のSDGs宣言」
「エコキャップ集め」
- ・ 生活保健委員会… 「新型コロナ感染予防対策活動」
※SDGs啓発ポスターづくり、
ソーシャルディスタンスマークづくり
- ・ 図書文化委員会… 「SDGs図書による啓発活動」
「吉和学園SDGsキャラクター募集」



R4.5

総合的な学習の時間

「SDGs」で吉和の未来を考える～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～

児童生徒会活動 全児童生徒での取組

1学年 生活科 (67/102)
「SDGs」で吉和の未来を考える
～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～
○吉和のまち探検をしよう
○吉和の自然と生活を見つめよう
【吉和の宝】

2学年 生活科 (50/105)
「SDGs」で吉和の未来を考える
～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～
○吉和のまち探検をしよう
○吉和の自然と生活を見つめよう
【吉和の宝】

3・4学年 総合的な学習の時間 (70時間)
「SDGs」で吉和の未来を考える
～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～
○吉和のまち探検をしよう
○吉和の自然と生活を見つめよう
【吉和の宝】

5・6学年 総合的な学習の時間 (70時間)
○吉和の宝の現状を調べよう
【吉和の宝】
○施設や事業所と交流しよう
【福祉プロジェクト】
○吉和の伝統を受け継いでいこう
【やまびこ太鼓】

中1年 総合的な学習の時間 (50時間)
「SDGs」で吉和の未来を考える
～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～
○吉和の現状と課題を考えよう
【吉和の宝】
○少子高齢者問題を考えよう
【福祉プロジェクト】
○吉和の伝統を受け継いでいこう
【やまびこ太鼓】

中2年 総合的な学習の時間 (70時間)
「SDGs」で吉和の未来を考える
～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～
○吉和と他地域を比較・検討しよう
【吉和の宝】
○少子高齢者問題を考えよう
【福祉プロジェクト】
○吉和の伝統を受け継いでいこう
【やまびこ太鼓】

中3年 総合的な学習の時間 (70時間)
○吉和のためにできることを考えよう
【吉和の宝】
○自分の進路を考えよう
【生き方学習】
○少子高齢者問題を考えよう
【福祉プロジェクト】
○吉和の伝統を受け継いでいこう
【やまびこ太鼓】

エコキャップ
回収活動
全児童生徒
貧困をなくそう
飢餓をなくそう

私のSDGs宣言
全児童生徒
パートナーシップで
目標を達成しよう

その他委員会活動
全児童生徒
パートナーシップで
目標を達成しよう



中1 SDGs教科関連カレンダー

中1

SDGS関連カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	8 働きがいも経済成長も					11 やまびこ太鼓	3 福祉プロジェクト					
国語			10 オオカミを見る目	16 碑				11 集まって住む				
社会		13 世界各地の人々の生活と関係					9 アジア州	15 南アメリカ州		17 日本の姿	13 世界から見た日本の姿	11 世界から見た日本の人口
数学							12 エコキャップで比例・反比例を考える					
理科	15 身近な動植物		2 食を変えるイネ									15 火山、地震による災害
音楽						11 やまびこ太鼓	11 日本の伝統的な音楽			10 アジアの諸民族の音楽		
美術	4											
保健体育	3											
技術家庭科	9 技術と環境との関係	3 食生活と栄養										
英語			11 学校の文化祭						11 イギリスの本 ウェブサイト			
特別活動			16 ボランティアについて			5 男女理解		8 働くということ				
特別の教科 道徳		15 ひまわり	10 魚の涙				8 私が働く理由	15 鳥が見せてくれたもの				

3. 研究内容 ②説明力の育成

全教科・全領域での説明力を
高める指導方法の工夫



<「説明力」の定義>

自分の意見を目的や場面に応じ、
理由や根拠を明確にして表現できる力。

「説明力」の意義

- ・ 学習者の理解度（キーワードが使えているか）が明らかになり、事後の指導がしやすくなる。
- ・ 学習者の言葉で表現させることで「自分事」になる。
- ・ 学習者が目的や場面に応じて、理由や根拠を明確にして表現することで、コミュニケーション能力が向上する。

※ 授業の「振り返り」では、
「学習したことや分かったことなどをキーワードを使って表現できること。」
がポイントとなる。



「説明力」の向上を図る授業づくり



- ①毎時間「めあて」と「振り返り」の連動した「**よしわ学びのサイクル**」に則った課題発見・解決学習型の授業を行う。
- ②導入と「めあて」の提示で、「ゴールのイメージ」(振り返り)をもたせる。
- ③授業(単元)の最後には「振り返り」を行い、授業のキーワードを使ってまとめを行い、自分の言葉や文字で表現する。
- ④意図的に児童生徒が発表できる場を多く設ける。 ※ **授業参観週間など**
- ⑤ICT機器を活用した授業づくりを行う。
- ⑥計画的に校内研修(理論研, 授業研)や授業参観週間を設け、授業力の向上を図る。 ※ **単元構想シート, 振り返りシート, 授業参観シートの活用と工夫**

よしわ学びのサイクル

授業

① **よ**くつかむ

- ・前時の復習・想起
- ・めあての把握
- ・課題解決までの見通しをもつ（予想・方法）

よしわの

よ

よしわの

し

② **し**っかり考える

- ・自分の考えを持つ
- ・1人で考える
- ・1人で調べる
- ・自分の考えをノートに書く。（思考力UP）

説明力①

「話す・聞く」スキルアップ

「書く・読む」スキルアップ

説明力③

③ **わ**かいは

- ・基礎的・基本的事項の整理
- ・学習後の感想や自己評価
- ・家庭学習へつなげる

家庭学習
の充実

よしわの

わ

④ **わ**かいは

- ・自分の考えをはっきり表現する（説明力を高める指導）
- ・個々の考えを交流して解決する【集団解決】
- （表現力・判断力UP）

説明力②

【単元構想シート】

校種・学年 中学校・2年

教科等 国語科

単元構想シートの活用【国語科の例】

① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続けられる「問い」)

◆この領域を学ぶ意義に関する「問い」

- ・どのように書けば、自分の思いを正確に伝えることができるのだろうか。
- ・必要な情報を収集するには、どうすればいいか。

本質的な問い

② 単元を貫く問い (単元を通じて考え深めていく「問い」)

- ・「職業ガイド」作りには、どのような情報が必要か。
 - ・分かりやすい発表資料を作るには、どうすればいいか。
- この問いを深めよう活用すれば、必要な情報をすることができ、分かりやすい発表資料を作ることができ、自分の思いを伝えることができる。

単元を貫く問い

単元計画の構想

単元計画の
構想を立てる

- ①調べる職業を決め、情報を集める。
- ②集めた情報を分類・整理する。
- ③④分かりやすい構成を考えて、発表資料を作る。
- ⑤完成した発表資料を使って自分の思いを伝え、意見交流を行う。

※ICTを使って発表し、まとめ方や情報の活用のしかたでよいと思った。

個別の問い

「説明力」の研究授業 中2国語科 タブレットを活用した「職業ガイド」づくり

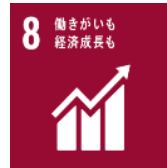
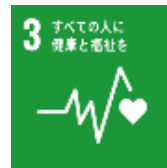


「説明力」の研究授業 小3・4複式国語科 学習リーダー中心となって進める授業



4. 研究内容 ③地域連携

総合的な学習の時間を中心に「SDGs」を共通キーワードとした学校と地域の方々が相互に学び合える取組





10 人や国の不平等
をなくそう



R2 「SDGs認知度調査」事業所訪問・インタビュー 福祉プロジェクト

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



吉和支所・社会福祉協議会(リモート)との交流

お年寄りが住みやすいまちづくり

若い人が住みたくなるまちづくり



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナシップで
目標を達成しよう



ICT機器の活用、リモートやタブレットを使った授業



「吉和の未来を 考える会」の 方々との交流

- 自分たち考えたことに対する貴重なご意見や自分たちが知らなかった取組や困難さを知ることができた。
- 平成30年発足の「吉和の未来を考える会」の方々から助言や会合への参加承諾をいただくことができた。
- これからも一緒に、自分事として吉和の未来を考えていかなければならないと決意を新たにすることができた。



「廿日市市シティ プロモーション室」 の方々との交流

- 自分たちのやろうとしていることに対して、行政からの貴重な意見や実現性の有無、アドバイスをいただくことができた。
- 自分たちの考えを実現させるために、廿日市の支援がとても重要なことが分かった。
- これからも、廿日市市と連携、協力して吉和の未来のために取り組んでいきたいと改めて思った。

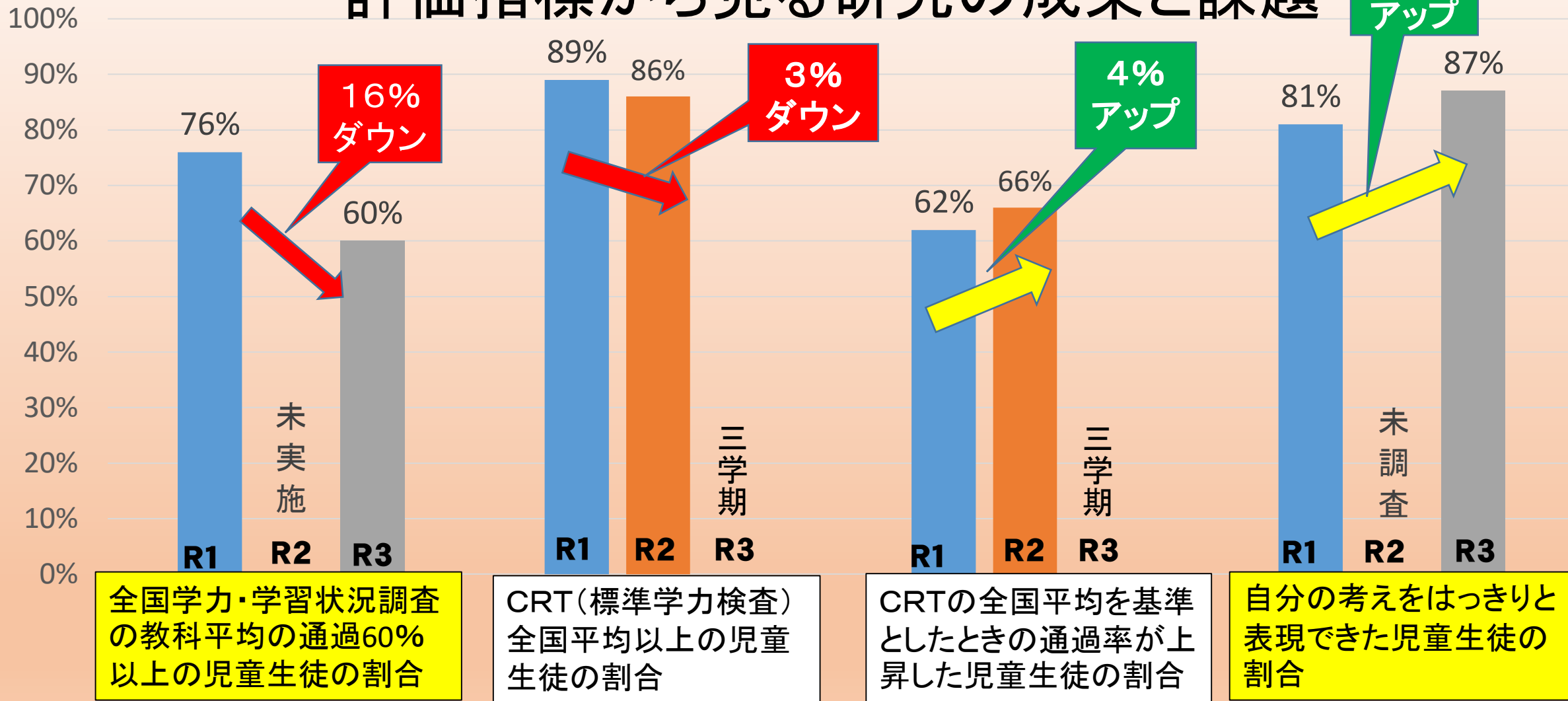
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



5. 成果と課題、これから向けて

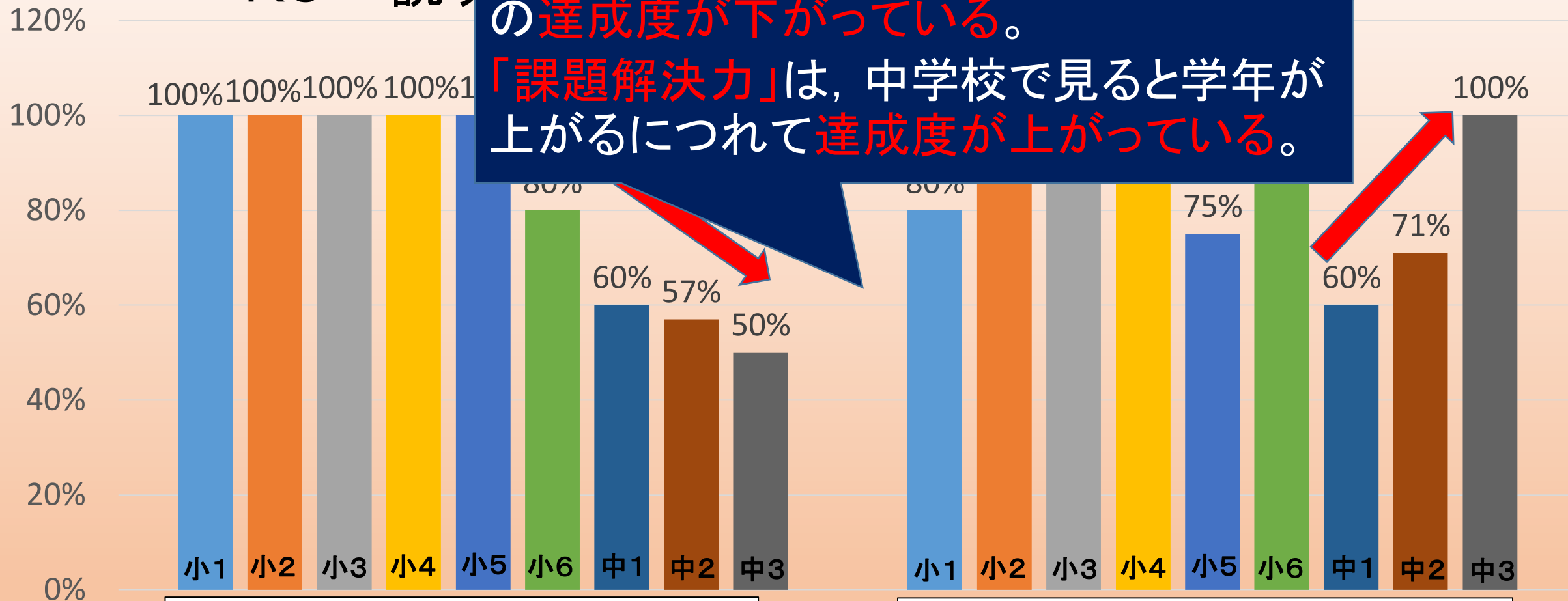
評価指標から見る研究の成果と課題



R3 「説明力」

小6から学年が上がるにつれて「説明力」の達成度が下がっている。

「課題解決力」は、中学校で見ると学年が上がるにつれて達成度が上がっている。



説明する場面で自分の考えをはっきり表現できている。

行事などのときに、自分で立てた目標を達成することができている。

①総合的な学習の時間を中心に据えた SDGsの視点による教育課程の見直し

〈成果〉

- 「吉和の未来を考える」をテーマに、SDGsの視点による教育課程の見直しに向けて小1・2の生活科、小3～中1、中2・3の二つのグループに分け、授業実践を行ったことで、来年度からの9か年を見通した総合的な学習の時間の全体計画及び各教科の関連性が明確になった。
- 児童生徒のSDGsによる地域づくりの意識が高まり、自分たちが発見した課題や提言を保護者や地域に発信することができた。また、異年齢での学習の場が生まれ、主体的に関わりや教え合い学び合いを通して、人間関係をうまく形成することができた。

〈課題〉

- 小3・4，小5・6が複式学級なので、隔年で教育課程や指導計画を作る必要がある。小中一貫の9か年を見通し、継続的・発展的に指導計画を改善していく。

②全教科・全領域での説明力を高める指導方法の工夫

〈成果〉

- よしわ学びのサイクルについて意識統一し、「めあて」と「振り返り」が連動した授業を全教科・全領域で取り組むことで、児童生徒が授業のキーワードを使って、自分の言葉で説明したりまとめたりできるようになってきた。
- 「単元構想シート」を使った授業づくりに積極的に取り組むことで、指導と評価の一体化に基づいて、児童生徒への学習に活かすことができた。
- 児童生徒が説明する機会に徐々に自信をつけてきており、自己有用感が高まった。

〈課題〉

- 場面に応じた臨機応変な説明や応対ができる力や児童生徒の学力の向上が十分でなかった。さらなる説明力・学力の向上を図っていく必要がある。

③「SDGs」を共通キーワードとした学校と地域の方々が相互に学び合える取組〈地域連携〉

〈成果〉

- 吉和の保護者や地域の事業所の方々には、学校の取組の結果、SDGsの認知度は高まった。また、学校からの呼びかけに快く協力していただけた。吉和地域の課題について、SDGsの視点で調べ発見した課題を検討し、課題解決の方法や取組を提案し、実践することができた。
- 今回の取組で吉和支所、吉和社会福祉協議会、吉和未来を考える会や廿日市市役所シティプロモーション室などと連携して、吉和地域の課題に取り組むきっかけやパイプをつくることができた。また「大人からのアドバイス・支援」を得ることで、活動に自信をもつことができた。
- 今まで行ってきた地域連携が「SDGs」という視点でベクトルが揃い、具体的な取組ができた。

〈課題〉

- 児童生徒がさらに吉和の良さを知り、各機関と連携して吉和のPRのしていくことや持続可能な吉和地域の未来の担い手として、何らかの形で児童生徒が吉和地域に「自分事として」関わられるような課題解決にも取り組みたい。

令和2・3年度 国立教育政策研究所
教育課程研究指定校事業（へき地教育）研究指定校
廿日市市立吉和小・中学校（吉和学園）

考えをもち、はっきり表現する児童生徒の育成

～SDGsの視点をふまえた教育課程の編成と説明力を高める指導方法の工夫～

ご静聴ありがとうございました。

